

岩屋中だより

令和5年4月19日 NO2

発行 長崎市立岩屋中学校

文責：校長 川口猛

生涯を支えるために必要な『力』=『知・徳・体』

○『知』=全国学力・学習状況調査、県・市学力調査

○『徳』=トイレのスリッパ

○『体』=早寝・早起き・朝ごはん

18日(火)に、全国学力・学習状況調査と県学力調査、市学力調査が行われました。全国学力・学習状況調査は、3年生が対象で、国語、数学、英語の3教科が実施され、県学力調査は、2年生が対象で、国語と数学、市の学力調査は、1年生が対象で、国語の数学(算数)が実施されました。2年生は、秋に、英語の市の学力調査が行われます。

今回の試験以外にも、試験はたくさんありますが、『試験大好き』という人はなかなか見ないものです。試験は、頭脳を鍛えるために、また、生きていくための教養を高めるために、現在の力を自己分析する機会です。試験は自己診断でもあると思います。全国を対象にした問題、県を対象にした問題で、**自分がどの程度力をつけているのかを知る機会**だったと考え、結果が来たら、伸ばすべきところ、補っていくところを確認し、今後の学習の参考にしていきましょう。

教養がなければ、誤解を生みます。誤解は、対立を生みます。対立は、争いとなります。争いが戦争となって、私たちの幸せを奪っていきます。幸せを掴むためには、『知』の力、即ち、学力・教養は大切だと思います。

さて、何の写真でしょう？トイレのスリッパですね。今年度から、シューズのままはくことができるスリッパがたくさん増えました。事務の先生が購入してくださいました。ありがたいなと思っています。

さて、トイレのスリッパには、大切なことがあると私は考えています。写真のスリッパはきちんと並んでいます。私たちの社会では、このようにスリッパを並べることができているときもあれば、そうではない時もあります。トイレのスリッパは私たちの心の鏡とではないか私は考えています。どういうことか、少し考えてみましょう。

トイレのスリッパを並べる→次の使う人が使いやすいようにする行動だといえます。つまり、そこには、〇〇〇〇の心があります。自分のことしか考えなければ、トイレのスリッパは並べません。トイレのスリッパが並ぶ=心が整う=〇〇〇〇の心がある と私は考えます。今度から、自分の心を鍛えるために、簡単にできるスリッパ並べをやってみませんか？簡単なところで心を鍛える実践の場はあるものです。〇〇〇〇に入る言葉は何でしょう？正解は、思いやり です。



そういえば、昔、『トイレの神様』という歌がヒットしました。懐かしい・・・

健康を維持し、体を整えることは、生涯を通して、大切なことです。私は、毎日数種類の薬を服用していますが、薬を飲むことなく自分の健康を維持できればそれが一番だと考えています。

体をつくっていくことは、成長期の中学生にとって、とても大切なことだと思います。『早寝、早起き、朝ごはん』できているでしょうか？

食育、情報機器、家庭での時間の過ごし方など、自分の『体』にかかわることを、以下チェックしてみましょう。

- 朝ごはんを食べて登校している。
- 情報機器を扱う時間は午後 9 時までというルールを守っている。(深夜まで使用していない。)
- 情報機器の使用のルールを各家庭で設定している。
- 睡眠はきちんととっている。
- 好き嫌いをせずに食のバランスを考えて食べている。
- 手洗い・うがい・歯磨き・検温など、毎日簡単にできることをきちんと実行している。
- 『いただきます。』『ごちそうさまでした。』の言葉を大切にしている。

『和』を感じた歓迎遠足、期待ふくらむ部活動紹介…

4月13日の(木)に部活動紹介と歓迎遠足が行われました。生徒会主催の知恵の輪のゲーム、そして、3年生は、学級対抗のレクリエーションを行い、コロナ禍の中ではなかなか体験できなかったレクリエーションを通して、『和』を体験できたのではないのでしょうか。また、遠足に先だって、部活動紹介が行われ、1年生は、^{せんぱい}羨望のまなざしで、先輩たちの姿を見ていました。遠足と部活動紹介の様子をいくつか写真で紹介いたします。

輪=和

